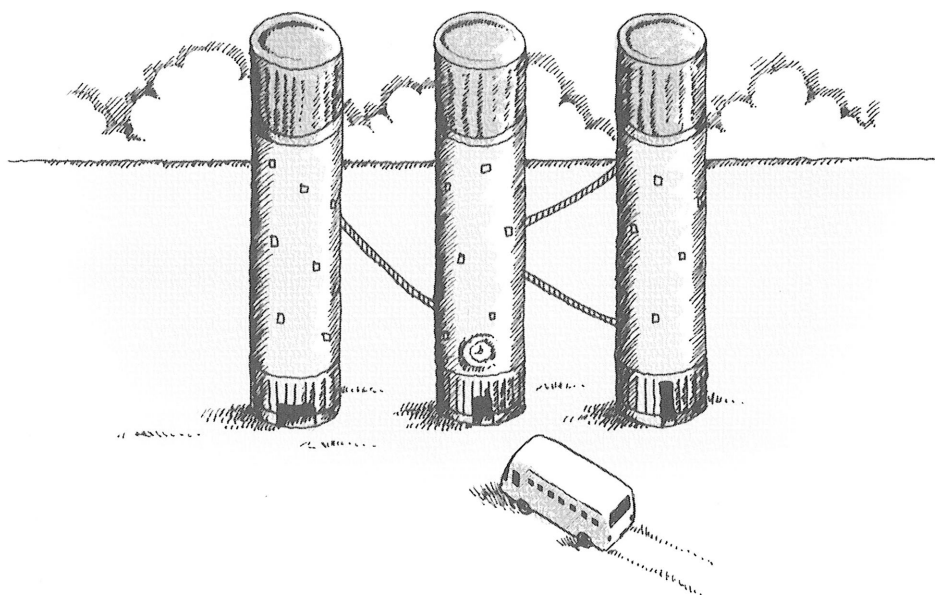


道 教 組

▶ DOKYOSO NEWS vol.513



各地で新しい仲間を迎えています！

第87回メーデー

「暴走」政治 戦争法廃止！立憲主義を取り戻そう！

核兵器廃絶を訴え、大行進

みんなの願いを文科省概算要求に反映を

わたしのとっておき

春の「めぶく」期、各地で新しい仲間を迎えています！

これまでのつながりも生かし、春の仲間づくりが各地ですすめられてきました。例年であれば、特定の単組・連絡会に集中するのですが、今年は、ここ数年加入がなかった単組にも新しい仲間が入っています。仲間づくりのとりくみが道教組全体でとりくまれていることがわかります。

以下、各地のとりくみや経験を紹介します。

宗谷教組

- ・分会や専門部の声かけで加入。
- ・支部青年部が猛烈にはたらきかけて加入。
- ・(宗谷の) 教員採用試験学習会参加者が「学びたい」と加入。
- ・(札幌の) 教採対策学習交流会参加者が加入
- ・以前、臨採時に加入していたことから、新採用になって再加入。
- ・他管から異動し自ら加入。その際同じ職場の新採用者を誘って同時加入。

檜山教組

- ・以前、臨採時に加入していたことから、新採用になって再加入。
- ・分会からの声かけで加入。教採合格をめざして札幌の教採対策学習交流会にも参加。
- ・支援員となったので加入。

根室教組

- ・長年勤務の書記が加入。
- ・昨年度からはたらきかけの結果、新年度から加入。

全釧路教組

- ・4月から勤めた新人書記が加入。
- ・これまでのつながりから、教育観・仕事観で一致できたので声をかけた。戦争へ向かう危機感から加入。
- ・入学式後加入をよびかけ、分会同僚の子どもへの温かい接し方を見て加入。

全胆振教組

- ・これまでに何度か会議に参加していたので加入をよびかけると、4月から加入。「憲法を守り、平和と民主主義を大事にする教育研究活動にとりくみたい」と決意。

全渡島教組

- ・他管内で組合員だった経験から、新採用となって加入。
- ・再任用となって再加入。

全石狩札幌教組

- ・再任用となって新規加入。

空知教組

- ・再任用となって再加入。

十勝連絡会

- ・高教組組合員の教え子が、教採合格をめざして加入。札幌の学習交流会に参加。

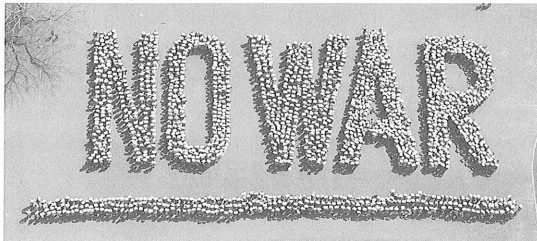
日高連絡会

- ・他管から異動してきて加入。

6～8月は、「夏の組織拡大・強化集中月間(はじける)」です。引き続き「つながりづくりの5,000円」や「集い合い促進費」を活用したとりくみをすすめましょう！

第87回メーデー

「暴走」政治 戦争法廃止！立憲主義を取り戻そう！



第87回メーデー北海道集会は、桜が満開の札幌中島公園自由広場で開催され、40団体から3,500人が参加し、道教組関係者も参加しました。

日曜日のメーデー集会には、子どもたちもたくさん参加し、全員で人文字「NO WAR」を作成。頭上を旋回するセスナ機に向かって桜色のしおりを掲げ、航空写真を撮影しました。

主催者を代表してあいさつに立った黒澤幸一実行委員長（道労連議長）は、「戦争法の強行成立

や公約違反のTPPに対する国民の怒りは頂点に達しています。今年のメーデーを労働者の一大決起の場として、国民の共同の力で、戦争法廃止と立憲主義を取り戻し、安倍『暴走』政治にストップをかけよう！」と訴えました。

集会後のデモ行進では、サウンドカーを2台配置。車上から音楽にのって「戦争法は今すぐ廃止！」「最賃1000円に引き上げよう！」とコールすると、沿道からも一緒にコールしたり、若者はリズムに合わせて踊ったり、手を振る人がたくさん見られました。日本が平和への道を歩むのか、再び「戦争する国」に突き進むのか、歴史的岐路に立つ今、メーデーで固め合った団結と決意を力に、戦争法廃止、雇用・くらし・平和を守るたかいかい、安倍「暴走」政治を打ち破る国民共同のたかいかいを広げましょう。

安保法制を考える市民学習講演

「安保法制がねらうもの」

渡辺 治（一橋大学名誉教授）

5月8日、北海学園大学において渡辺治さんの市民学習講演が開催され、多くの市民、組合関係者、民主団体が参加しました。概要を紹介します。

はじめに

戦後70年、安倍政権の安保法制で戦後日本は最大の岐路に立たされています。正念場が今年なんです。北海道5区補選でも大健闘しました。ところが、安倍政権は明文改憲を発言しています。

安保法制がねらうものは？

安保法制は、アメリカ、財界の宿題で、安倍首相の思いつきではありません。アメリカが世界で行っているあらゆる戦争、介入に全面的に加担する態勢づくりには、日本の集団的自衛権が必要なのです。

安保法制案反対運動は安保闘争以来の高揚

安保以来の市民の立ち上がりで、1万人以上の集会が12回。8月30日は、国会前に12万人、全国1000カ所で、100万人以上の参加になります。安保法制強行採決後も運動が盛り上がり、その後、2000万人統一署名、市民連合結成、5野党共闘の成立などに波及してきました。

民主党、共産党、社民党の共同が国会で生まれ、各分野の共同が市民を激励。宗教者全国集会、法律家6団体共闘、学者の会の拡大もそうです。

安保法制を廃止し、憲法が輝く日本を

安保法制反対の国民は6割で、立ち上がったのはほんの一握り。憲法は死んでいません。憲法は国民の中に確固と定着しています。「戦争しない平和な日本」への確信を持ちましょう。

核兵器廃絶を訴え、大行進

北海道は宗谷・網走・根室から

5月8日午前8時、2016年原水爆禁止国民平和
大行進（北海道－東京コース）が宗谷の礼文島から
スタートしました。宗谷教組礼文支部のメン
バーをはじめ、約20人が島の中心部からフェリー乗
り場まで核兵器廃絶を訴えて行進しました。東京
から全労連長尾副議長（全教中央執行委員）も参
加しました。

一行は同日フェリーで稚内入りし、宗谷教組稚
内支部や民主団体のメンバーと合流し、約50人で
市内を行進しました。

礼文島でも稚内市内でも、宗谷教組の青年教職
員が「国際青年リレー」のたすきをかけて歩きま
した。自分でもできるとりくみを通して、核兵器
廃絶と平和への思いをさらに強くしていました。



稚内市内を行進する一行

行進は広島をめざします

この国民平和大行進は、8月4日～6日広島県
で開催される「原水爆禁止世界大会」をめざし、

全国からリレーされています。

北海道は礼文島のほか、網走（網走教組が参加）、
根室（根室教組が参加）などからも出発し、5月
21日には札幌で合流、さらに、えりも、小樽から
も加わり、6月4日に函館で再合流して翌日青森
へと引き継がれます。

今後、6～7月には四国・九州からも本州コ
ースに合流し、ゴールの広島平和記念公園をめざし
ます。

原水爆禁止世界大会に参加しよう！

原水爆禁止世界大会は毎年8月に開かれてお
り、毎年交互に被爆地広島と長崎をメイン会場と
しています。今年のメイン会場は広島。被爆者のお
話を聞く、記念館の見学などのフィールドワー
クが設けられており、平和学習の絶好の機会です。

道教組では、地域原水協の代表派遣のとりくみ
と調整しながら、独自にも代表を派遣していま
す。参加希望される方は、各単組・連絡会、なら
びに道教組書記局にご相談ください。1次締切は
6/15です。

<原水爆禁止世界大会の主な日程>

- | | |
|-----------|---------------|
| ・国際会議 | 8月2日(火)～4日(木) |
| ・世界大会（広島） | 8月4日(木)～6日(土) |
| ・世界大会（長崎） | 8月8日(月)～9日(火) |

「ゆいま～る」実行委員会始動！

全教は、「組織拡大強化」「次世代組合員の交流」
「沖縄連帯」を目的として、12月24日(土)～25日(日)、
沖縄県恩納（おんな）村・リザンシーパークホテ
ル谷茶（タンチャ）ベイにて、「未来をひらくプ
ロジェクト ゆいま～る」を開催します。

「ゆいま～る」とは、「みんなでつながりあう」
という意味。文字通り、全国の次代を担う仲間が
つながりあい、「全教組織建設3カ年計画」の3
年目にむけた契機にします。

道教組と道高教組は合同で「ゆいま～る 北海
道実行委員会」を立ち上げ、5月21日に第1回実行
委員会を開催しました。全体集会後、12月26日(月)

午前中まで北海道の独自企画にとりくみます。そ
の内容や集会に向けた準備について検討中です。



第1回実行委員会の様子

子ども、実践、学校、仕事…普段着で交流

檜山教組 茶森 茂樹

5月14日午後から行われた「檜山教職員の集い」には43名が参加しました。テーマの「ゆったり学び合い」が活かされるよう全日程を温泉宿で開催、宿泊も通して翌日まで交流しました。



「たのしい授業と仮説実験授業」と題して小笠原智先生（札幌養護学校教諭）が講演、実践を紹介してくださいました。身近な事例について仮説を交流しながら検証していく実際のやりとりが新鮮で、大いに盛り上がりました。次々と学習材や教具が、ドラえもののポケットよろしく出現し、先生の温かな人柄と共にたのしい雰囲気を醸し出

してくれます。「他者と自分を重ね合わせて思考が深まっていく過程がたまらない」といった感想が寄せられました。子どもたちのひらめきや気づき、その時の表情などにも思いをはせ、参加者自身が子どものようにはつらつとしていました。

分科会は、小笠原先生の「ものづくり講座」の他、「リフレクション」「特別支援教育」「養護教諭」などが開設、日頃のとりくみや実態を語り合い、課題を掘り下げました。「リフレクション」では小学校の若い先生が学級の実情や課題意識を発表、中学校や高校の先生も参加し体験が交わされました。「算数が苦手な子も中学や高校で学んで得ていくものがある」という議論が印象深く共有されました。

温泉に浸かってからの夕食交流会には23名が参加、ゲーム交流などを交え、これも大いに盛り上がりました。

2016学び愛フェスタ in 宗谷に参加して

道教組書記 小西 博光

「学び愛フェスタ」が5月14日に稚内北星学園大学で開催され、札幌から参加しました。100名以上の参加で圧倒的に若い先生方の姿が目立ちました。

開会式では、実行委員長あいさつの後、道教組共済会書記の小西が全教共済について紹介。

続いて第一部は、「今だから考えたい子どもたちの”学び”とは」と題して北海道教育大札幌校の前田賢次さんの教育講演会。はじめに『キューポラの街』の映像を紹介。この映画の舞台となった埼玉県川口市の川口プランが「学習指導要領」の最初であり、そこに関わっていた坂本光男の名を挙げ、これが宗谷の原点になっていること。そして、今も宗谷の教育が、地域に根ざす教育として実践されているが、その継承が難しくなっている」と問題提起。人口減少や過疎化の進行、そして、学校も学力問題などで非常に辛い状況になっている中、子どもが学ぶ力をつけるためにはど

うしたらよいかということで、石巻市立雄勝小の徳永博志先生の実践が紹介されました。震災体験後、地域に残って漁業を営



む漁師から学びながら希望に向かって共に学び合っていること。また、三笠市の実践として、北海盆唄発祥の地ということで、運動会で地域の声を取り入れ復活させたこと。そして今、地域と教育が大論争になっていることなどが話されました。

第二部では、「みんなで学ぼう、9つの講座」が、全道各地から講師を迎えて行われ、第三部「市町村大交流会」は、会場をかえて行われました。

参加したみなさんにとって、大きなエネルギーを得た一日になったようです。

5月1日、札幌で 人事評価制度学習会と職場交流

主催 笑顔をあふれる学校づくりを考える会（札幌教職員の会・全石狩札幌教職員組合）

5月1日メーデー・道退教懇親会の後、16時から札幌教職員の会との合同学習会をしました。札幌教職員の会2名・全教石狩札幌6名、道退教から2名、道教組から1名の11名の参加でした。札幌教職員の会の星野さんの司会で始まりました。



最初に、道教組の楢本書記長から人事評価制度について説明があり、資料に基づいて分かりやすく説明してくれました。できもしない評価は「業績評価」（4月～9月と10月～3月）と「能力評価」（4月～3月）の2種類になり、1月の昇給とボーナスに影響します。面談が、4回（2回目と3回目を合体させると実質3回）になります。

2015年後期の「業績評価」から2017年6月ボー

ナスに、2016年度の「能力評価」結果と2回の「業績評価」結果は、2018年1月の昇給に反映されます。

問題点は、①できない評価を無理にすること、②人事評価は絶対評価で全員がAもあり得るが、給与への反映では「相対評価」になる矛盾、③全体的に賃金を下げたの賃金反映なので、実質的な賃金削減になっている、④教職員の分断になるので、職場のチームとしての学校の教育力を下げていく。

どう闘っていくかで、話し合いの中で出た意見として、①この制度の内容・矛盾を学習しよう。②分断されて学校の教育力を下げないための取り組みを強める。③その具体策の一つとして、評価シートの記入交流（数値目標を書かない・学年校務分掌で話し合った教育的なねらい・目標を書く等）面談内容の交流（パワハラがないか）を職場などで行っていこう。④管理職に教育者としての立場を強めてもらうために、この制度の矛盾を理解してもらう話し合いを強める。等ができました。

夏休み頃に2回目の合同学習会をして、交流しましょうとなりました。

編集後記

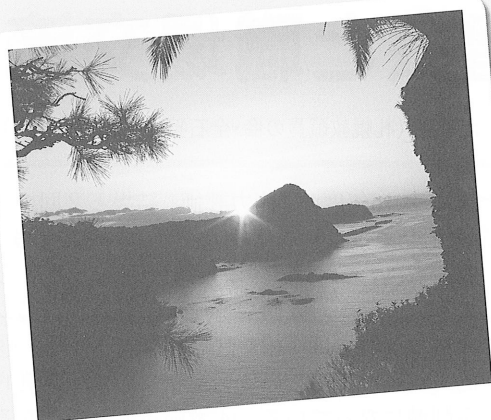
主催者の高校教育研究所に子ども全国センターが加わり、中・高校生の約1万人を対象に憲法についての意識調査が2015年に行われ、その結果が発表されました。結果は、高校生の72.8%、中学生の76.2%が「憲法9条は戦後の日本の平和のために役立ったと思う」と回答。9条は「変える方がいい」は高校生13.4%、中学生8.1%、「変えない方がいい」は高校生60.3%、中学生68.1%と回答。成人の意識調査と比べ、高校生の方が圧倒的に日本国憲法の平和主義を評価していることが

分かりました。

日本の教師は、憲法の果たしてきた役割を児童・生徒と共に学び合い、今後も世界に誇れる日本国憲法を平和や暮らしに生かす使命があると考えます。また、18歳選挙権については、高校生の66.7%、中学生の66.7%が18歳になったら投票に行く（多分行くを含む）との回答でした。「18歳になったら選挙に行きなさい」という強制ではなく、高校生自身が選挙に行きたいと思うような教育・権利意識を醸成したいものです。（新保）

わたしのとっておき

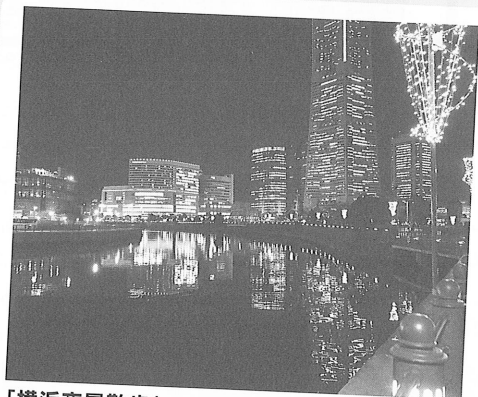
“とっておき”の写真・絵・短歌・川柳など紙面で紹介できる作品募集。頁下メールアドレスへご連絡を。



「初日の出」

新年を伊豆で迎えようと家族旅行した時の元旦、少し早起きして初日の出を写しました。自宅からは殆ど雪雲で初日の出を拝むことが出来ませんが、この日はじっくりと拝むことが出来ました。

【犬上 達也(南富良野中学校)】



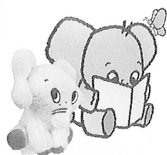
「横浜夜景散歩」

今年の1月、出張のため東京へ。しかし、宿泊は横浜の桜木町と決めていました。光り輝く横浜港の夜景散歩にでかけ、海面に映る光のマジックにひたりながらカメラのレンズに集中。横浜2回目の夜景撮影を満喫しました。

【新保 裕(道教組副委員長)】

全教自動車保険

「見積依頼」でハーゲンダッツをプレゼント!
加入するとドライブレコーダーも当たるかも!



小納谷部長
川上企画



出会いがしら事故が増えてきました。
注意を一方に偏らせず、「右→左→右」の安全確認を習慣づけましょう。

提携 東京海上日動火災
保険株式会社

全教自動車保険加入にあたっての5つの特長

- ①無事故割引を他の保険会社や一部の共済から引き継げます
- ②保険料は給料引去または口座振替
- ③ご家族の車でも、何台でも加入OK
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

手続き

カンタン

有限会社 川上企画 (道教組指定代理店)

札幌市中央区南大通西12丁目4-78 ウエスト12 1階
フリーダイヤル 0120-222-789 FAX 011-218-2472

道教組

2016年6月1日発行

発行 全北海道教職員組合 発行者 川村安浩 〒060-0909札幌市東区北9条東1丁目 北海道労働センター3階

TEL(011)742-0101 FAX(011)742-1001 メールアドレス dokyoso@seagreen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.dokyoso.net>